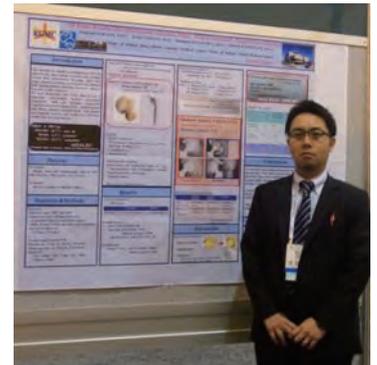




## 世界最高峰の アメリカ整形外科学会 (AAOS)に参加して…。



AAOS 2014 会場エントランス



ポスター発表

2014年3月10-15日、澤田はアメリカ南部のルイジアナ州にある都市ニューオーリンズで開催されたAmerican Academy of Orthopaedic Surgeons(AAOS)に参加してきました。ニューオーリンズはミシシッピ川がメキシコ湾に注ぐ河口よりやや内陸に位置し、かつてスペインやフランス等の統治下で厳しい奴隷制度に置かれていた歴史を背景に、現在では独特の文化を残している街です。そのため建築・音楽・料理など独特なエレメンツがあり、同じアメリカでも異国の地に訪れた感覚になりました。また世界中から多くの観光客が訪れる観光地の1つでもあります。

今回の学会AAOSは、整形外科領域では**世界最高峰の学会**であり、世界中の整形外科医が集結し、最新の治療法・手術成績・人工関節・手術機器などの最新の知見について発表・講演・医療機器展示などが行われています。会場であるNew Orleans Morial Convention Centerは展示面積だけでも10万㎡あり、京セラドーム(33800㎡)の約3倍と大規模なもので、その会場をフルに活用し会場の移動だけでも一苦労といったものでした。

今回、私はこの栄誉なAAOSで「**日本のみで使用されてきた人工股関節の長期成績**」について発表してきました。世界の整形外科医のスペシャリスト達と同じ土俵に立つことができ、とても感銘を受けました。ただ、すべての発表のうち日本からの発表は私も含め約3%と少なく、整形外科の世界では、まだまだアメリカ・ヨーロッパを中心とした学問の発展になっていることを痛感しました。

今回のAAOS 2014 annual meetingに参加して、私は自分の専門であります人工関節についての発表・講演を中心に勉強してきました。特に人工股関節/膝関節に対する最新治療・長期成績・再置換術・感染治療・脱臼対策・

脚長補正・最新の手術機器/道具については、各分野のスペシャリストの講義を直接聞いてきました。とても勉強になり、それと同時に感銘を受けました。

この学会を通じて、我々が現在行っている人工関節手術は世界に通用することを再認識し、また学会で得た知見をもとに改善・改良し発展していく分野であると思いました。今後、さらにより良い人工関節手術を行い、より良い手術成績を得るために必要なものは取り入れ、より正確で安全な手術を患者様に提供していきたいと思えます。



フレンチクォーターにある  
ジャクソン広場

有名なバーボン通り  
(夜間は歩行者天国になる)



バーボン通りのランドマークである  
3体のJazzの巨匠の銅像

